

平成 21 年 5 月

関係者各位

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
財団法人 日本住宅・木材技術センター

伝統的構法の雨水防水（雨仕舞い）仕様・工法の 調査協力をお願い

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、住宅瑕疵担保履行法の施行により、新築住宅において保険又は供託が義務付けられ、多くの事業者の皆様は保険を採択されることと思えます。

保険加入に際して、対象住宅は木造軸組工法（在来工法）を想定した雨水防水の設計施工基準が適用されます。しかし、この基準がそのまま適用できない伝統的構法の仕様・工法については、個別に基準の適用を除外する為の審査が行われ、通常よりも長い審査時間を要しております。

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会及び財団法人 日本住宅・木材技術センターでは、伝統的構法住宅に対応した雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法について、体系的な情報収集と調査を進めております。雨水防水（雨仕舞い）の一定性能が確保された仕様・工法をリストアップし、これらのリストと同様と判断される仕様・工法については、保険加入の際に基準の適用除外審査が免除され、手続きの迅速化・円滑化が図られます。

つきましては、伝統的構法の雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法の整理と分析をするにあたり、棟梁・大工並びに事業者の皆様へ、現在採用している仕様・工法の具体的な内容の記載のご協力をお願い申し上げます。

何かとご多用中のところ大変恐縮ですが、別紙調査シートの雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法に関するアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご記入いただいた調査シートは、**平成 21 年 6 月 20 日**までに同封の返信用封筒で当センターにお戻しいたさますようお願い申し上げます。

謹白

【問い合わせ先】

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19

アドレスビル 4 階

財団法人 日本住宅・木材技術センター
企画技術部 櫻井 原田 鈴木

TEL: 03-3589-1793 FAX: 03-3589-1766

このアンケートでお預かりしました大切な個人情報を、同意された目的以外には一切使用いたしません。第三者へ提供・開示することもいたしません。又、個人情報の取り扱いについて御不明な点やお気づきの点がありましたら、お問い合わせください。

雨水防水調査協力についての留意事項

1) 調査地域

伝統的構法は、それぞれの気候や風土において培われた構法であり、その仕様・工法が地域によって異なります。よって、地域性を考慮した仕様・工法を収集・分析するために、本調査は日本全国を調査対象地域とします。

2) 調査対象

保険加入に際して、対象住宅には保険法人の設計施工基準（木造軸組工法を想定）が適用されます。この設計施工基準に適合しない場合、基準の適用を除外する手続きを行なう必要があります。伝統的構法で基準適用が除外される項目は、以下の表のようなものが考えられています。

また、既に保険法人の審査を受けて、基準の適用を除外する手続きを受けた事例についても調査対象とします。

雨水防水の調査対象の例

防水部位	本調査対象の例
屋根	茅葺き、皮葺き、板葺き、瓦葺き注1) 等
外壁	板張り、土壁塗り、漆喰塗り等
その他	木製サッシ、木製建具等

注1) 屋根の瓦葺きは「木造住宅工事仕様書 住宅金融普及協会発行」等の一般的な木造軸組工法の雨水防水の仕様や納まりと異なるものを対象とします。(例：下葺きがこけら葺きの場合など)

3) 記入方法

同封の調査シートに、住宅の設計・施工に際して実践している雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法についてご記入ください。図面・写真等はシートのご記入以外に別添でも構いません。

雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法について、事例が複数ある場合には調査シートをコピーしてご記入下さい。

なお、ご回答いただいた内容に関しまして、より詳細な仕様・工法についてのヒアリングや、参考資料等のさらなるご提供をお願いする場合がございますので、その良否について、調査シートの末尾に設けたチェック欄にご記入くださいますようお願い致します。

4) 謝礼

上記本調査へのご協力に対して、雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法の調査協力1件につき壱万円の謝礼をお支払い致します。

伝統的構法における雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法についての調査シート

整理番号

会社や回答者の概要について記入して下さい

会社名 (_____)

会社住所 (_____)

電話番号 (_____) F a x 番号 (_____)

E-mail (_____)

回答者氏名 (_____) 年齢 (_____ 才) 現場経験年数 (_____ 年)

回答者の業務内容（複数回答可） 大工、現場監督、設計、その他（内容 _____）

業務エリア (_____)

回答者の所属団体 (_____)

伝統的構法の雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法についての調査にご協力をお願いします。

あなたが実践している構法について、雨水防水（雨仕舞い）の仕様・工法に関するアンケートにご回答をお願いします。選択肢がある質問では該当するものを選んでチェックするか、又は内容を記入して下さい。複数の選択肢に該当する場合は複数回答でも結構です。また、図面・スケッチ等の記載について記入欄におさまらない場合は、添付の別紙もご利用ください。

また、回答する構法が複数になる場合は、この用紙を必要数コピーしてご回答ください。

①. あなたが実践している屋根・外壁・開口部の工法についてお尋ねします

【1.屋根】

- ・工法の名称：() ・用いる地域の名称 ()
- ・屋根の形状： 寄棟、入母屋、切妻、兜、その他 () ・勾配： / 10
- ・屋根葺きの種類： 瓦葺 (こけら葺下地)、草葺、板葺、皮葺、その他 ()
- ・屋根葺きの材料： () ・葺き厚 (mm)
- ・棟の納め方： (材料： 、重ね合わせ長さ： mm)
- ・谷の納め方： (材料： 、重ね合わせ長さ： mm)
- ・材料の防腐措置： ()
- ・当該工法の部位： 棟、下り棟、谷部、下屋、軒先、けらば、その他 ()
屋根附属物 (例：煙出し、越屋根、雨除け板、等)： ()
- ・屋根のメンテナンスについて行っていること (または必要と考えること) について教えてください。
1年以内 ()、5年以内 ()
10年以内 ()、10年以上 ()
- ・当該工法・仕様の納まりについて、図面やスケッチ等できるだけ詳しく記載ください。
施工上の留意点、雨仕舞い上のこだわりのポイントなどについても、図中に記入ください。

(手書きで結構です。また、CAD図面の切り貼り、施工時の写真などの併用でも結構です。)

※スペースが足りない場合は、別紙に記載ください。

【2.外壁】

- ・工法の名称：（ _____ ） ・用いる地域の名称（ _____ ）
- ・外壁の種類：板壁（軸組+板張り、落とし込み板壁+板張り、土壁+板張り）、
真壁（木舞下地、木摺又はラス下地）、大壁（木舞下地、木摺又はラス下地）
葺造り、その他（ _____ ）
（注）板張りとは、下見板張りや羽目板張りなどの板張り仕上げを総称するものとします。（次頁も同様）
- ・外壁の材料：（ _____ ）
- ・軒の出：（ _____ mm） ・雨除けの措置：（壁面： _____、床面： _____）
- ・当該工法の部位：柱や横架材との取合い部、開口との取合い部、軒や下屋、庇との取合い部、
その他（例：バルコニーや物干との取合い部、 _____ ）
- ・外壁のメンテナンスについて行っていること（または必要と考えること）について教えてください。
1年以内（ _____ ）、 5年以内（ _____ ）
10年以内（ _____ ）、 10年以上（ _____ ）
- ・当該工法・仕様の納まりについて、図面やスケッチ等できるだけ詳しく記載ください。
施工上の留意点、雨仕舞い上のこだわりのポイントなどについても、図中に記入ください。

（手書きで結構です。また、CAD図面の切り貼り、施工時の写真などの併用でも結構です。）

※スペースが足りない場合は、別紙に記載ください。

【3.開口部廻り】

- ・工法の名称：（_____） ・用いる地域の名称（_____）
- ・工法の場所：霧除庇、雨戸、建具（窓、出入口）、その他（_____）
- ・取合う外壁：板壁（軸組＋板張り、落とし込み板壁＋板張り、土壁＋板張り）、
真壁（木舞下地、木摺又はラス下地）、大壁（木舞下地、木摺又はラス下地）
葺造り、その他（_____）
- ・当該工法の材料：木製（B L 部品等、その他）、アルミ製、その他（_____）
- ・軒の出：（_____mm） ・霧除庇等の出寸法：（_____mm）
- ・当該工法の部位：外壁との取合い部、建具の戸先・召合せ部、板金納まり部、目地処理部
その他（例：庇の外壁からの出寸法、等 _____）
- ・開口部廻りのメンテナンスについて行っていること（または必要と考えること）について教えてください。
1年以内（_____）、5年以内（_____）
10年以内（_____）、10年以上（_____）
- ・当該工法・仕様の納まりについて、図面やスケッチ等できるだけ詳しく記載ください。
施工上の留意点、雨仕舞い上のこだわりのポイントなどについても、図中に記入ください。

（手書きで結構です。また、CAD図面の切り貼り、施工時の写真などの併用でも結構です。）

※スペースが足りない場合は、別紙に記載ください。

②. 当該工法・仕様の採用にともない、通常発生する事象

構造耐力部分や雨水の浸入防止部分について、当該工法で通常見受けられる防水上の不都合に関連して特徴的な事象を記入ください。なお、前述の図面やスケッチに図示していただいても構いません。

※前述の図面・スケッチにメモしていただいても結構です。

③. ご意見

あなたが伝統的構法として設計または施工している住宅で、設計・施工する際に工夫している点や問題点など、ご意見をお書きください。

(キーワード：防水、雨仕舞い、ちり決り(しゃくり)、水切り、など)

後日、一部の回答者の方に対し、アンケートでご回答頂いた内容を中心に、ヒアリングさせて頂きたいと考えております。その場合、ヒアリングに応じていただけますか？

【 はい ・ いいえ 】

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

(別紙)

